

1 本算定結果

愛知県から、令和 7 年度国民健康保険事業費納付金及びあま市標準保険税率が次のとおり示されました。

(1) 国民健康保険事業費納付金

区 分	令和 7 年度（A）	令和 6 年度（B）	増減比較（A－B）	
金 額	2, 294, 866, 352 円	2, 338, 391, 860 円	△43, 525, 508 円	△1. 86%
1 人当たり	165, 265 円	160, 395 円	4, 870 円	3. 04%

※ 「1 人当たり」は一般被保険者分で、退職被保険者分は含まれていません。

(2) あま市標準保険税率

区 分	令和 7 年度				令和 6 年度 合計（B）	増減比較 （A－B）
	医療給付費分	後期高齢者支援金等分	介護納付金分	合計（A）		
所得割	7. 38%	2. 72%	2. 29%	12. 39%	12. 50%	△0. 11pt
均等割	31, 653 円	11, 489 円	11, 618 円	54, 760 円	53, 794 円	966 円
平等割	20, 549 円	7, 458 円	5, 750 円	33, 757 円	34, 485 円	△728 円

※ 標準的な収納率（保険者規模別） 令和 7 年度：95. 24％ 令和 6 年度：95. 18％

2 令和 7 年度国民健康保険税率（案）の算出

(1) 財源不足額

国民健康保険事業費納付金を支出するにあたり、保険税収納必要額と現行税率での収納見込額の差額である 1 億 3, 191 万円の財源不足が見込まれます。

区 分		金 額	備 考
A	国民健康保険事業費納付金	2, 294, 866, 352 円	
B	保険税収納必要額	1, 607, 910, 000 円	【 A ± 県公費等 】
C	現行税率での収納見込額	1, 476, 000, 000 円	
D	財源不足額	131, 910, 000 円	【 B － C 】

(2) 保険税収納必要額を税率改定で補った場合

現行税率での収納見込額と比較した場合、1 人当たり 1 万 641 円、1 世帯当たり 1 万 5, 392 円の増額が見込まれます。

	保険税収納必要額 （A）	現行税率での収納見込額 （B）	比較増減 （A－B）
調 定 額	1, 785, 574, 681 円	1, 637, 812, 052 円	147, 762, 629 円
収 納 額	1, 607, 910, 000 円	1, 476, 000, 000 円	131, 910, 000 円
1 人当たり税額	128, 589 円	117, 948 円	10, 641 円
1 世帯当たり税額	185, 998 円	170, 606 円	15, 392 円

※収納率：90. 05％、被保険者数：13, 886 人、世帯数：9, 600 世帯を用いて算出しています。

(3) 令和 6 年度以降の税率改定の方向性について

愛知県国民健康保険運営方針に基づき、本市においては令和 10（2028）年度までに決算補てん等を目的とした法定外の一般会計からの繰入金の解消を図ります。

また、保険税負担が短期間で著しく増加しないよう段階的に税率を改定することとしています。

令和 7 年度は、急激な保険税率の引き上げを抑制するため、一般会計からの繰入金を 9, 761 万円としました。

(4) 財源不足額に対する財源内訳

財源不足額に対して、一般会計繰入金による補てんを受けることにより、税率改定分の金額は 3, 430 万円となりました。

区 分		金 額
財 源 不 足 額		131, 910, 000 円
財源内訳	一般会計繰入金	97, 610, 000 円
	税率改定分	34, 300, 000 円

(5) 令和 7 年度国民健康保険税率（案）

令和 7 年度国民健康保険税率（案）とモデルケースごとの影響額は、次ページのとおりとなりました。